

船舶事故調査報告書

平成29年10月18日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	定置網損傷
発生日時	平成29年5月27日 10時30分ごろ
発生場所	岡山県笠岡市六島北東方沖 湛江港B防波堤灯台から真方位081°460m付近 (概位 北緯34°18.6′ 東経133°32.5′)
事故の概要	プレジャーボートシーキングは、漂流中、定置網に進入し、同網が損傷した。
事故調査の経過	平成29年6月5日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート シーキング、3.0トン 280-45012香川、株式会社ヤマダエ芸
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	本船 なし 定置網 囲い網に破損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 上げ潮の末期（笠岡）、潮流 南東流 約1.7ノット（長崎瀬戸）
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、知人2人を乗せ、六島北東方沖で釣りを行いながら漂流中、船長が、下を向いた姿勢で釣りの仕掛けを作っていたところ、‘六島北東方沖に設置された定置網’（以下「本件定置網」という。）に乗り入れ、推進器に囲い網が絡まった。 本船は、来援した漁船の乗組員に絡まった網を切断してもらい、漁船に引き出されて本件定置網から脱出した。 船長は、六島北東方沖に本件定置網が存在することを知っていたものの、本事故時、本船が風潮流により南東方に圧流されて本件定置網に接近していることに気付かなかった。
分析	本船は、漂流中、船長が、釣りの仕掛けを作っていて周囲の見張りを適切に行っていなかったことから、風潮流に圧流されていることに気付かず、本件定置網に乗り入れ、本件定置網が損傷したものと考えられる。
原因	本事故は、船長が、釣りの仕掛けを作っていて周囲の見張りを適切に行っていなかったため、風潮流に圧流されていることに気付かず、本船が本件定置網に乗り入れたことにより発生したものと考えられる。

参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 常時適切な見張りを行うこと。
-----------	--